

環境共生産地 i n f o ネット

～環境と共生する産地づくり運動推進協議会設立～

岩手県環境と共生する産地づくり運動推進協議会長
小林英男
(全国農業協同組連合会岩手県本部長)

ごあいさつ

このたび岩手県環境と共生する産地づくり運動推進協議会の会長を務めさせて頂くことになりました、全農岩手県本部の小林でございます。

最近、原油、穀物などの急激な価格高騰による食料品の相次ぐ値上げと、食料の生産現場におけるコスト高により、消費者・生産者ともに困難な状況が発生しております。

また、最近の安全・安心に対する消費者の関心は高まっており、昨今の世界的な食料需給の問題と併せて、食に対する国民の関心はかつて無いほど大きくなっています。

このような中、先進国で最低の自給率 39%の日本の食糧供給基地として、本県の役割は今後、ますます重要性を増してくるものと思います。このため、岩手の持つ大自然(きれいな水、きれいな空気、健全な土、多様な生き物)を有効に活用した「安全・安心」そして「おいしい」農産物を、「純情産地いわて」から消費者にお届けすることが何よりも大切であります。

この協議会では、環境に優しい農業技術の開発や環境保全型農業実践者への支援、県版GAPの普及定着、加工・流通との連携による実需者との結びつき支援、そして、「純情産地いわて」を柱とした安全・安心のトップブランドの情報発信など、生産から消費までの各段階で関係者同士の連携強化を図ることとしており、農業者と消費者との信頼のある結びつきを強めるため、これまでの県行政主導ではない形で、民間の活力を持って、広く県民運動として進めていくことが必要です。

この協議会を通じ、皆さんとともに情報を共有し、この県民運動が実りあるように盛り上げていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(協議会長就任の挨拶より～第1回協議会～)



シリーズ これってどんな意味?

このコーナーでは、環境と共生する産地づくり基本計画にでてくる様々な用語について説明していきます。
第1回めは 【環境保全型農業】 についてです。

環境保全型農業とは「農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業」(環境保全型農業の基本的考え方より)と定義されています。

近年、温暖化など地球レベルでの環境問題が顕在化し、人間活動のあらゆる分野において、環境への配慮が求められるようになってきています。これからの農業が、国民全体の理解と支持を得る産業として、発展していくためには、「環境保全型農業」への転換が求められています。

情報誌発行について

先般、6月12日に「環境と共生する産地づくり」を県民運動として展開することを目的とし、「環境と共生する産地づくり運動推進協議会」が設置されました。本情報誌は、協議会の取り組みの一つとして、環境に配慮した農業を実践する生産者やそれを支援する消費者、団体などの取り組みを広く紹介することを目的として作成しています。

本情報誌に記載された取り組みを、それぞれの団体の会員・組合員などにお知らせ頂くとともに、皆さんからの情報もお寄せ頂ければと思います。

消費者に安全・安心農産物栽培への取り組みをPR！

～八幡平農業改良普及センターの取り組み～

八幡平農業改良普及センターでは、「安全・安心農産物提供運動」として、6月15日(日)～9月15日(月)の3ヶ月間、農薬安全使用の推進等に取り組んでいます。

その活動の一環として、6月15日(日)、道の駅の「石神の丘」、「くずまき高原」、「にしね」の3会場で、消費者に対する「安全・安心農産物提供運動」のPR活動を、JA新いわて、各市町との連携により行いました。この活動は、地元生産者の「必要最低限の農薬を使用する農作物栽培」や、「堆肥を利用した化学肥料の低

減の取り組み」等について、チラシ等の配布と、放送による呼びかけにより行ったものです。

道の駅を訪れた消費者は、地域で行われている安全な農産物生産への取り組みについて熱心に耳を傾け、これらの取り組みにより、岩手県が全国で2番目に農薬使用量が少ない県(平成18年)であることを知り、改めて地域の農産物の安全性について理解が深まった様子でした。



お知らせ！

環境と共生する産地づくり運動推進協議会の事業の一環として2回のシンポジウムの開催を計画しております。詳細が決まりましたら、連絡致します。みなさま、お誘い合わせの上、ぜひご来場ください！

○ 第1回目

日時：平成20年9月6日(土)
場所：北上市「岩手県農業研究センター」
内容：松本 聡氏(環境保全型農業推進協議会長)による講演、生産者による取り組み事例発表
当日は農業研究センター参観デーも開催されています

○ 第2回目

日時：平成20年11月2日(日)
場所：盛岡市「アイーナ」
内容：主に消費者を対象とした基調講演、生産者や消費者の参加するパネルディスカッションなどを予定しています
当日は、いわて環境王国展も開催されています

